

菅 強権政治 仕掛け人

氏 官房長官時代の7年8カ月

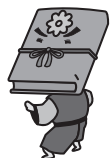


「官邸強権政治」はここまで来たか—科学者まで意のままにしようとする日本学術会

議への人事介入問題。安倍政権の7年8カ月、菅官房長官は「裏の強権仕掛け人」でした。

安保法制の先導役

官房長官は内閣の要。悪政の共同の責任者です。集団的自衛権容認、安保法制強行ではその先導役。当時の法制局長官が集団的自衛権容認の憲法解釈に異を唱え、菅氏は「非常に違和感を感じる」と攻撃、容認派への首すげ替えを進めました。



©カクサン部!

数々の疑惑隠し

疑惑もみ消しの張本人。安倍前首相の盟友が理事長の「加計学園」の新学部開設を早めるよう圧力を加えた問題では、批判した前川喜平元文部科学事務次官に人格攻撃。「桜を見る会」では、招待者取りまとめの責任者ですが再調査を拒否しています。

沖縄の民意圧殺

安倍前政権の民意圧殺の最たるものは、沖縄・辺野古新基地建設。その司令塔が菅氏。「沖縄基地負担軽減担当相」として工事を指揮。県民が選挙で何度新基地ノーの圧倒的民意を示しても「(工事を) 粛々と進める」と繰り返してきました。



人事・メディア支配

官僚支配の組織・内閣人事局が設置(14年)されるとその中心に。官房長官会見での「東京」・望月衣塑子記者への質問封じを行い、NHK「クローズアップ現代」キャスター、テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーター降板でも関わりが指摘。

折り目

「学問の自由」脅かす重大事態

菅首相 学術会議 任命拒否

日本学術会議の人事への菅首相の介入が大問題になっています。日本の科学者を代表する機関である学術会議が新会員候補として105人を推薦したのに対し、菅首相が6人の任命を拒否しました。これまで一度もなかったこと。違憲・違法な拒否は撤回し、6人全員を任命すべきです。



学術会議総会 10月1日、東京都内(日本共産党ホールへページより)

政治介入を撤回せよ

任命拒否された6人は、安保法制や共謀罪、辺野古基地建設などに反対を表明してきた学者。それを理由に任命拒否したのなら、憲法第23条が保障する「学問の自由」を侵害する極めて重大な事態です。**首相の任命は「形式的」**

政府は、任命拒否は「適切な対応」としていますが、1983年に日本学術会議法を

改定した際、政府は首相の任命は「形式的」と明記する文書を作成、これに基づき中曽根首相(当時)は「政府が行うのは形式的任命に過ぎません」と答弁していました。実質的には首相に任命権はなく、任命拒否が違法であることは明らかです。

日本共産党

制度解説

衆院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

近畿民報

2020年10月 No.3(第433号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。